



インスピレーションになるう

# ガバナー月信

2018年9月号 Vol.3

2018-2019 年度ガバナー 川瀬康裕



## Contents

My Rotary	1	新入会員・訃報・会員数及び出席報告	13
地区事務所固定化について	3	今後の予定	15
会員増強セミナー報告	6	コーティネーターニュース	16
インターアクト年次大会報告	7	ハイライトよねやま	17
大学担当者向米山制度説明会	10	文庫通信	19
ロータリー財団委員会報告	11		



My ROTARY (第2回: クラブリーダーのロータリー!?)

クラブ戦略計画推進委員会  
委員長 大澤 力(新潟西RC)

My ROTARY の2回目で、今回はクラブリーダーの My ROTARY です。1回目をお読み頂きアカウント登録はお済みでしょうか?もしもまだなら1回目に登録の仕方をお示ししましたので、お願いします。2回目以降はアカウント登録が完了されている前提で実践的などところをご紹介します。アカウント登録は入り口に過ぎません。

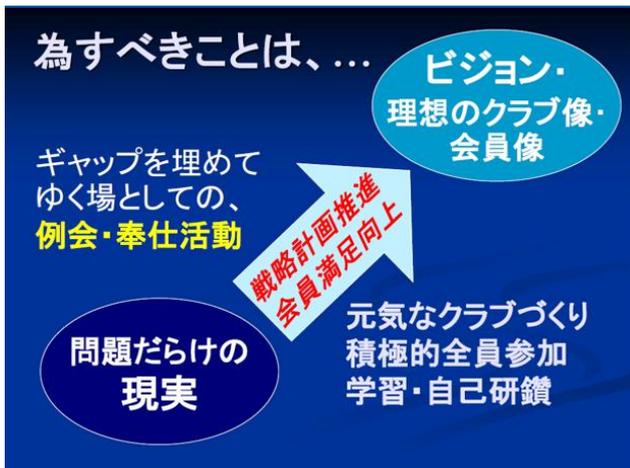
ご存知の通り、ロータリーは単年度制です。RI も地区も我々個々のクラブも会長・幹事等のリーダーは1年でお役目御免となります。単年度制の長所はそれぞれの解釈で多々あるでしょうが、短所もあります。1番大きくて全てのクラブで共通に言える短所は、組織運営の一貫性です。これは RI や地区の運営にも同じことが言えます。そこで RI は、この短所解決に先駆け 2010 年 7 月より現在の国際ロータリー戦略計画 (以下 RI 戦略計画) を有効にすると理事会決定しました。ただし、この RI 戦略計画はあくまで一貫性を持ったロータリーの活動指針という解釈であって、義務ではありません。以来、各年の RI 会長はこの RI 戦略計画という活動指針をベースにして、各年度ロータリーの目標と言う単年度目標を立てていますし、その単年度目標をベースにして、各年度地区ガバナーが地区運営方針を設定するという次第です。こうして今現在、ロータリーの組織運営の一貫性が保たれています。また RI は 3 年スパンでこの戦略計画を見直しており、次の RI 戦略計画改訂は 2019-20 年度だそうです。

この一貫性を持った組織運営を個々のクラブに置き換えますと、先ず 10~20 年先の時代を見据えた会員とクラブ組織の「こうありたい将来・未来像」を描きます (ビジョン)。次にそこへ限りなく近づく為の 3~5 年の目標と行動計画を作ります (クラブ戦略計画)。これは数値等で示せると解りやすいですし、進捗状況を確認、必要があれば修正する委員会を設けるとな一層一貫性が保てますし、その委員会には少なくとも現会長・会長



**戦略的目標**

クラブのサポートと強化	人道的奉仕の重点化と増加	公共イメージと認知度の向上
<ul style="list-style-type: none"> <li>クラブの刷新制と柔軟性を育てる</li> <li>さまざまな奉仕活動への参加を奨励する</li> <li>会員基盤の多様性を奨励する</li> <li>会員の勧誘と維持を改善する</li> <li>リーダーを育成する</li> <li>ダイナミックな新クラブを結成する</li> <li>クラブと地区における戦略計画の立案を奨励する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポリオを撲滅する</li> <li>青少年や若きリーダーの支援、およびロータリーの6つの重点分野と関連したプログラムや活動において持続可能性を高める</li> <li>他団体との協力やつながりを深める</li> <li>地元と海外の地域社会で多大な成果をもたらすプロジェクトを生み出す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>イメージとブランド認知を調和させる</li> <li>行動を主体とした奉仕を推進する</li> <li>中核的価値観を推進する</li> <li>職業奉仕を強調する</li> <li>ネットワークづくりの機会、ならびにクラブ独自の活動について広報するようクラブに奨励する</li> </ul>



### ビジョン・戦略計画づくりのポイント

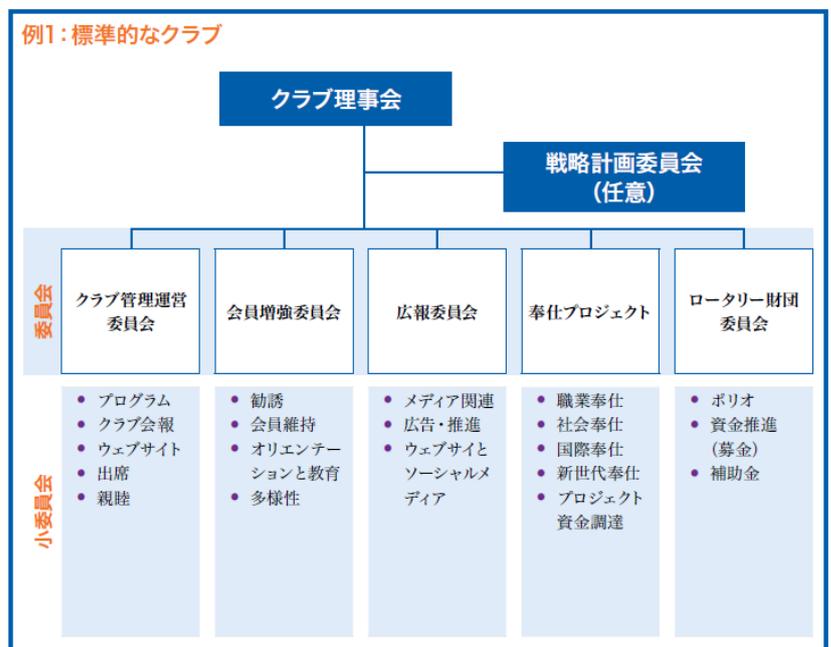
1. ビジョンは、将来像、理想像。戦略計画は、3~5年の、目標と行動計画を含む計画。
2. ビジョンは20~30年先の時代を見据えた、会員と組織のありたい姿(理想像)を描く。
3. 戦略計画(中長期計画)は、毎年進捗状況を確認しながら見直す。
4. ビジョン・戦略計画の策定のプロセスで、会員全員の合意を形成してゆく。特に、戦略計画は、次年度・次々年度のリーダーも参画する。(年度を超えた継続的改革)

エレクト・会長ノミニーが携わるべきです。

そして、各年度のクラブリーダーはそれらをベースにして単年度のクラブ運営計画を打ち出します(クラブセントラル)。単年度クラブ運営計画の例として、今年度はこうゆうやり方でこの目標と行動計画をここまで実現します、といった具合です。もちろん一連のビジョン・クラブ戦略計画にとらわれず、各年度リーダーの味を付け足しても良いかと思えます。重要なことはクラブ運営の一貫性です。ここまでを簡単にお伝えするのであれば「会員・クラブ運営の理想と現実とのギャップをクラブ戦略計画で埋めましょう」です。そしてビジョン・クラブ戦略計画の策定プロセスでは、クラブ会員全員の合意を形成していく必要があります。

すごく大変そうな作業に読み取れるかも知れませんが、幸い My ROTARY (クラブセントラル) の中にその雛形があります。クラブセントラルは大きく分けて6つの項目に分かれていまして①会員の増強と参加促進②R財団への寄付③奉仕④若いリーダー⑤公共イメージ⑥ロータリー賞(今年度会長賞から名称変更)です。この項目についてクラブ戦略計画を策定し、各年度クラブリーダーが各年度の目標・行動計画を設定する、それによってクラブ運営の一貫性が保たれるという話で「クラブセントラルがクラブ戦略計画のインスピレーションになり、クラブ運営ソフトの様なもの」の真意は、ここにあります。

My ROTARY (クラブセントラル：目標設定・確認センター)を開きご確認頂ければ解り良いのですが、どれも難しくない内容ばかりなので、論より証拠、一度ご覧になってみてください。





## 国際ロータリー第 2560 地区事務所 報告②

国際ロータリー第 2560 地区  
地区幹事  
関川 博(三条R C)

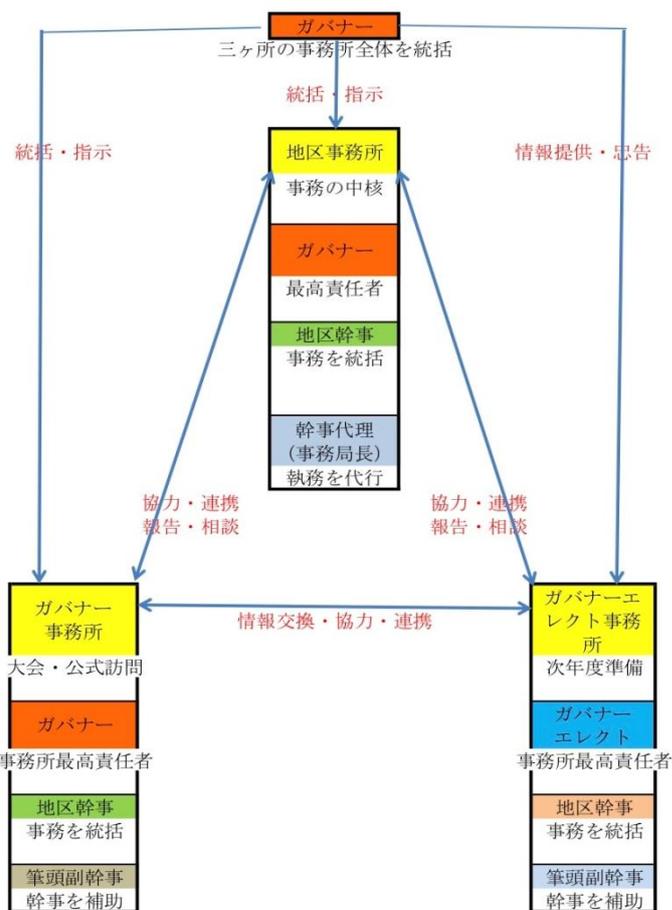
8月号に続く地区事務所の報告

地区事務所とガバナー事務所の管理体制  
地区事務所、当年度ガバナー事務所、次  
年度ガバナー事務所の三ヶ所の事務所が  
存在する。 その相関関係を図に記す。

ガバナーは三ヶ所に分散する事務所を  
統括するが、それぞれの事務所における  
職務分掌上の責務はその事務所に帰属す  
る。

地区事務所、ガバナー事務所はガバナ  
ーが事務所最高責任者。

次年度ガバナー事務所（ガバナーエレ  
クト事務所）は、事務所最高責任者とし  
てガバナーエレクトがその任を負う。



### 地区事務所の管理体制

事務局員は地区事務所における事務作  
業を遂行する。 ロータリー活動や運営についての責務はない。 事務的な対応はできるが、  
ロータリー活動に関する対応、判断はできない。 しかし、開設に際し混乱を防止するため、  
一時的にロータリアンが事務所運用上の問題解決対応窓口となる。

地区事務所担当パストガバナー 渡辺敏彦  
事務所長 丹治芳子

地区運営の最高責任者はガバナーであり事務責任者は地区幹事、財務責任者は地区財務委  
員であることは従来とおり。

## 作業分掌

### 地区事務所

地区委員会、地区運営会議、諮問委員会、RI 日本事務局・米山記念奨学会・ロータリーの友・ロータリー財団日本事務局との連絡、ホームページ管理、データ管理、DG・GE 事務所へ過去データ提供、ガバナーエレクト壮行会、国際研修会帰国報告会、ガバナー感謝の集い、歴代地区幹事会

### ガバナー事務所 DG

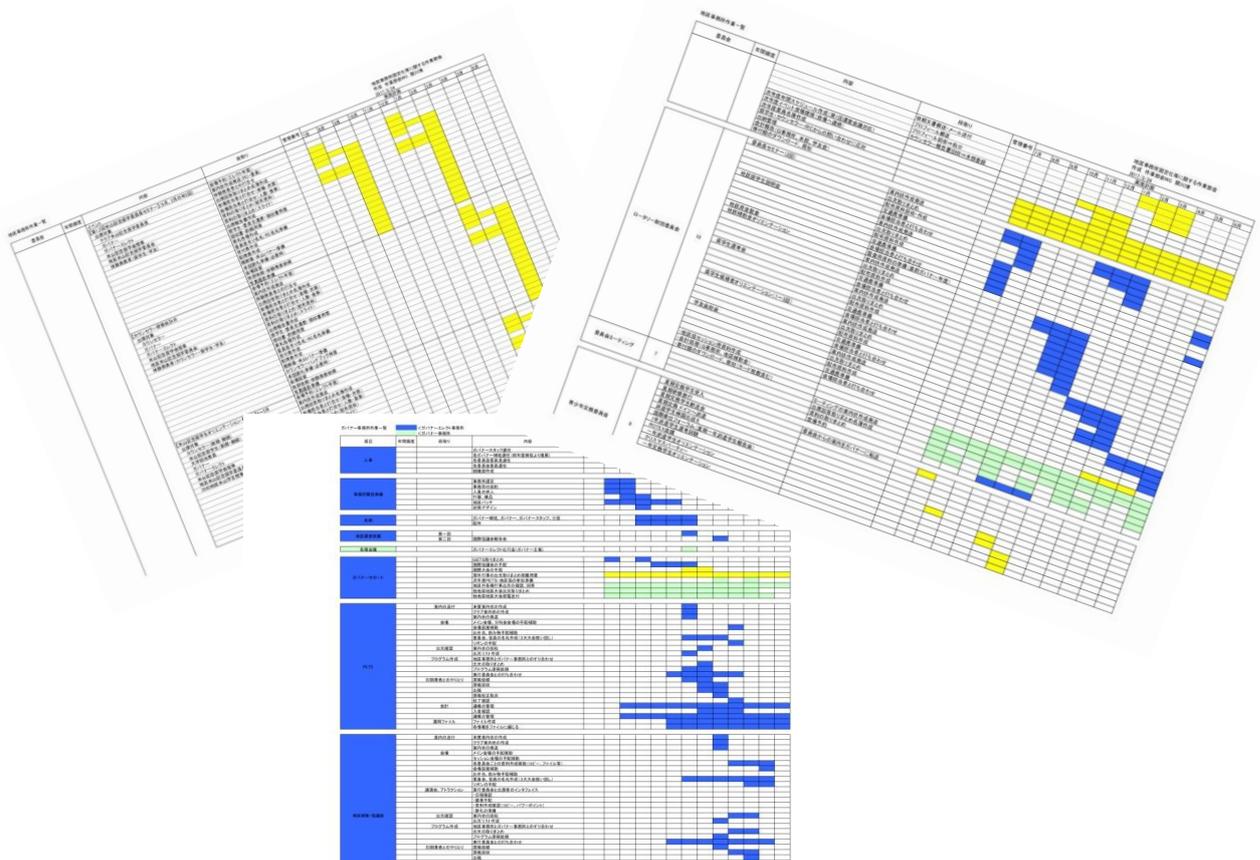
スタッフ会議、ガバナー補佐会議、地区大会、ゴルフ大会、公式訪問、ガバナー月信、ガバナー会との連絡

### ガバナー事務所 GE

スタッフ会議、ガバナー補佐会議、ガバナー事務所開所式、PETS、地区研修・協議会

ガバナー事務所では、ガバナー年度およびガバナーエレクト年度固有に行われるイベントの事務作業を主とし、それ以外の地区運営全般を地区事務所が行う。このことで、毎年繰り返される委員会活動および継続年度での活動は地区事務所が担当することで、スムーズに実施することが可能となる。また、データ管理を地区事務所が行い、各イベントの雛形を提供する。

## 作業分掌調査一例



The image displays three Gantt charts illustrating task assignments across different departments and fiscal years. The charts are organized into columns representing fiscal years (e.g., 2019, 2020, 2021, 2022) and rows representing specific tasks. Colored bars indicate the duration of each task.

- 地区事務所 (District Office):** Shows tasks like '地区委員会' (District Committee) and '地区運営会議' (District Management Meeting) with yellow and blue bars.
- ガバナー事務所 DG (Governor's Office DG):** Shows tasks like 'スタッフ会議' (Staff Meeting) and 'ガバナー補佐会議' (Governor's Deputy Meeting) with blue bars.
- ガバナー事務所 GE (Governor's Office GE):** Shows tasks like 'スタッフ会議' (Staff Meeting) and 'ガバナー補佐会議' (Governor's Deputy Meeting) with blue bars.

## 今後の展開

ガバナー事務所は従来、ガバナー選出地区に設立されることで、ガバナーや大会実行委員会などの利便性はある。しかし、経年委員会や近年のロータリー活動では高度な事務要求事項が多くなり、2年毎に刷新される事務所を都度設置することは難しくなっている。ガバナー選出を困難にしている要因であることは疑いようがない。各委員会活動はその年度の色合いがあるにしても、事務作業は大きく変化しない。また、各大会も同様である。

また、固定事務所を有するクラブでは、継続作業であることから、事務員が能動的に資料等を作成している。本来は、ロータリアンの学びである諸活動である基本を鑑みると、事務員が能動的に活動資料を作成はしない。基本はロータリアンが作成した資料または指示により事務的に配布および取りまとめを行うことが事務員の作業である。固定事務所を有するクラブからガバナーが選出された場合、新任のガバナー事務所事務員にそれを強要する危険性がある。従来このことが原因で着任早々の事務員を失っていることが散見される。そのような事態を防止する上で、当初は他地区のように固定事務所がガバナー事務所としても機能することを目指した。しかし、それには急激な変革に対応できるかどうか、不安要素もあり、当年度ガバナー事務所、次年度ガバナー事務所、地区事務所とした。

地区事務所職員2名、ガバナー事務所各1名の4名体制でのスタートは、ロータリアンが基本に立ち返り、ロータリー活動を自ら率先して行動し紳士的な姿勢で活動することが前提である。将来的には、地区事務所一元運用も視野に入れて当地区に合った最良の運用方法を模索したい。

## 会員増強セミナー報告



### 会員増強委員会

委員長 田中 雅史 (新潟南RC)

7月28日(土) 13:30～16:00 ホテルオークラ新潟において、各クラブの会員増強委員長を対象にした「クラブ会員増強セミナー」を開催いたしました。当日は、女性会員を急拡大させた新潟東RCの野沢慎吾さんと過去最大会員数となった新潟南RC角南邦彦さんより会員増強事例報告をいただきました。両クラブとも会員拡大のため独自の工夫をされており新潟南RC角南さんからは、会員増強のための極秘ノウハウを紹介していただくなど参加者にとって大変参考になるお話をいただきました。

また、2006-07年度地区会員増強委員長でいらっしゃいました新潟RC石本隆太郎パストガバナーから、「第2560地区の会員数の変遷と今後の課題」と題し、当地区における各クラブの10年あまりにおける会員増減状態を時系列的に比較し、クラブ毎の健康状態と治療方法を把握するため作成されたクラブ別健康診断書を基に説明をいただきました。結論としては、クラブの規模や創立年度等により対策は千差万別で特効薬は無く、クラブの活動状況が会員及び地域社会に支持されているかが大切であり、また、クラブ会長他会員増強委員長の増強に対する危機感と“やる気！”が結果に表れるということでした。

この後休憩をはさみ田中雅史会員増強委員長の進行により分區別のテーブルディスカッションを開催しました。テーマは1自己紹介を含む近況の報告、2会員を増やす、3クラブを強くするの3テーマとしました。非常に各グループとも活発な討論を行っており、最後に各グループの内容をガバナー補佐より発表をいただき終了となりました。次回は2019年3月16日第2回会員増強セミナーを開催予定です。本日の内容を持ち帰っていただき、次回のセミナーにおいて目標以上の会員増強達成のご報告が期待できるものと思われました。





## インターアクト年次大会報告

インターアクト委員会

委員長 水戸部 修一(新潟中央RC)

今年度のインターアクト年次大会は新潟県立新潟向陽高等学校インターアクトクラブのホストにより新潟市にて開催されました。二日間の大会でしたが両日ともに好天に恵まれ、猛暑による熱中症も心配しましたがトラブルなく終わることが出来ました。この年次大会に熱心に取り組んでくれた向陽高校インターアクトクラブの皆さん、お忙しい中ご尽力をいただいた椎名薫先生をはじめとする顧問の先生方、そしてご協力くださったロータリアンの皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。



さて、今年度は「地域の守りと市民の役割」を大会テーマに開催いたしました。インターアクト活動は青少年のための奉仕クラブ活動であり、それぞれのインターアクトクラブが地域ボランティアで活躍しています。昨今、全国的に災害が頻発しており我々も当事者になる可能性が十分に考えられます。このような状況下で、もし自分たちの住む地域に災害が発生した場合に最初に頼ることとなるのが消防署です。本年は平成27年に新潟市に整備された新潟市消防局・中央消防署のご協力を賜り、消防署の最新機能と、消防署が担う災害や救命救急に対する役割を学ばせていただきました。インターアクターの感想にもありますが消火器の操作方法、濃煙体験、救命救急の体制の理解に加え、実際に通報が入る様子を耳にするなど貴重な経験をしております。以下にインターアクターの感想を抜粋します。



・初日の新潟市消防署見学では、消防指令管制センター・作戦本部室・仮眠室・防火衣装着室などを見学させていただきました。指令管制センターでは、新潟市内全域の119番通報を受け付けていると知りとても驚きました。私たちが見学しているわずかな時間に、4件もの通報が入り、救急車が出動という緊迫した状況を目の当たりにしました。  
(村松高校 2年生 女子)



・調理室には専属の調理師がおらず、すべて署員が自分たちで調理しており、若い職員が先輩に料理を作っているのだ、と知りました。実際に消防署の中に入って見て、めずらしい体験をすることができました。このような貴重な体験を今後の自分の進路決定にも生かしていければいいなと思います。

(上越高校 2年生 男子)

災害というと自衛隊を思い起こす方も多いのですが、初動対応は消防署が担っているというご説明もいただき、最も身近で頼りになる存在であることが理解できました。消防局見学後には、ホスト校の企画による防災ビンゴゲームが行われました。200帖敷の大広間に、他校の生徒同士10名程度のグループで車座になり進行されるものでした。初対面の高校生たちは一様にシャイで微笑ましい光景でしたが、時間が経つに連れてそのグループごとの雰囲気が生まれ会話も少しずつ交わされるようになりました。コミュニケーションには勇気が必要という貴重な体験が出来たものと思っています。



二日目は活動報告の時間としました。各インターアクトクラブのプレゼンテーション形式とし、持ち時間7分を使い切ろう！という趣旨で準備をして臨みました。パワーポイントを使って活動の様子を写真で紹介してくれたり、大きな紙をつなぎ合わせて一目でわかる内容で報告をしてくれたり、しっかりと構成された文章を読み上げる形で発表してくれたり、様々に工夫を凝らして自分たちの活動報告をしてくれました。他クラブ



の活動内容に触れることで新たな発見があり、参考になったと感想を述べてくれています。インターアクトクラブごとに活動状況に濃淡があることは当然ですので、他クラブから刺激を受けてより主体的に取り組んでいくキッカケとなれば幸いです。

この年次大会は毎年持ち回りで開催されています。式典の設営、受付、司会、企画、運営、他者とのコミュニケーションなどホスト校には普段経験しない負荷がかかりますが、この経験を通じてインターアクターは一段ステップアップするようです。新潟向陽高等学校の佐藤綾（さとうりょう）会長以下、クラブメンバーが達成感と共に年次大会をやり遂げた表情を見せてくれました。次年度は日本文理高等学校インターアクトクラブの皆さんがホスト校を担います。ぜひ楽しんでいただきたいと思います。

結びに、この年次大会に係ってくださった関係各位に感謝申し上げ年次大会報告とさせていただきます。ありがとうございました。



## 大学担当者向け米山制度説明会

米山記念奨学委員会  
奨学生選考委員会  
委員長 宮嶋正明（新発田RC）

日頃より米山記念奨学事業へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

『ロータリー米山記念奨学事業の使命は、留学生の優れた学業の達成を支援し、同時に、カウンセラーと世話クラブとの交流を通じ、ロータリー精神を学び、国際理解を深め日本と母国の懸け橋となるなど国際親善に尽くす人材を育てることにある。そのために求められる米山奨学生の資質は「学業」、「異文化理解」、および「コミュニケーション能力」における熱意や優秀性である。』この一文は募集要項にも記載され、米山記念奨学事業（以下「本事業」と略します）の根幹を示す言葉として、委員会が大切にしている言葉です。



地区内での本事業は、前年度終盤であります4月20日に2018学年度（4月開始の学校の年度を「学年度」と呼称します）の新規奨学生を迎えて、本年度に引継がれたわけですが、早くも次の学年度（2019年4月～）の奨学生の準備として、8月7日（火）に「大学担当者向け米山制度説明会」を開催しました。

この説明会には2つの側面があります。1つは、大学担当者や教員の皆様に本事業の理解を進めてもらい、どのような学生を推薦するかについて理解を深める機会としていただくこと。2つめは、大学側が本事業についてどのくらい理解をしているかについて、委員会として確認ができる機会となります。当日は、本年4月に開学したばかりの新しい大学をもお迎えし、12校のご担当職員・教員の方から出席を頂戴しました。

米山奨学生を希望する学生は、大学内での学内選考で選ばれた者が、米山記念奨学会に応募ができます。したがって、学内とロータリーの二つの選考を乗り越えた学生だけが米山奨学生となれます。学業優秀で人柄も良い、クラブに可愛がられる奨学生を選考することが、地区内の本事業への理解と寄付増進を深めることに繋がるという認識のもと、冒頭にご紹介した一文が示す、本事業が求める学生像についてご説明を行いました。大学側からも貴重なご意見をいくつかお預かりすることのできた良い説明会であったと感じています。

米山記念奨学委員会では、カウンセラーや世話クラブの皆さま共に、現在の奨学生の育成をしながら、来春から受け入れる奨学生の選考の仕事を進め、寄付増進をお願いして参ります。会員皆さんから本事業へのご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。





## ロータリー財団委員会報告

ロータリー財団委員会  
副委員長 山田雄治(新潟南RC)

2018年8月25日土曜日は2560地区ロータリー財団委員会は忙しい一日になりました。まずは2560地区ロータリー財団の地区補助金オリエンテーションが午前中に、午後は第1回地区ロータリー財団セミナーが万代シルバーホテルを会場に行われました。

午前の地区補助金オリエンテーションは、本年度地区補助金が採択されプロジェクトを行う9クラブとVTT(職業研修チーム)派遣を行う新潟クラブの各プロジェクト責任者にお集まりいただきました、佐々木委員長の挨拶の後、菅原補助金委員長による補助金プロジェクトの最終報告書提出までの流れと留意点について説明を行いました。地区の財団補助金は、ロータリアンの一人一人の寄付による公金であることをご理解いただき、厳格な監査があるので書類の作成や帳票の取り扱いについても説明し、その後質疑応答



となりました。質問も内容を十分に理解された内容で安心しました。最後に補助金合意書にサインをいただき終了となりました。

お昼は1から7分区のガバナー補佐と共に川瀬ガバナーの財団寄付目標達成について意見を交わしながらランチミーティングを行いました。

午後の第1回地区ロータリー財団セミナーは、大谷ガバナーエレクトの挨拶、佐々木委員長の挨拶から始まりました。このセミナーはロータリー財団の活動を地区各クラブの会長・幹事、ロータリー財団委員長にご理解いただくために行われるセミナーです。まずは地区補助金支給承認通知書の授与、年次基金総計と一人当たり上位5クラブ、メジャードナー、ロータリーカード貢献クラブの表彰があり。奉仕プロジェクトについては渡辺補助金副委員長が中条胎内 RC、村上 RC の事例発表と合わせて説明、地区奨学生事業については五十嵐奨学金・VTT 委員長より財団学友2名の体験発表と地区奨学生募集スケジュールの説明がありました。休憩の後、VTT 事業について斎藤補助金・奨学金・VTT 委員長より説明があり、グローバル補助金事業については新発田 RC の事例発表と共に菅原補助金委員長より説明されました。清田寄付・資金・ポリオプラス委員長より財団寄付目標達成、ロータリーカード作成、ポリオプラス寄付目標達成への協力要請があり、新潟東 RC、新津中央 RC の寄付増進事例発表がありました。資金管理については徳永資金管理委員長より取り組みについて説明して3時間半の財団セミナーは終了しました。

参加された各クラブの皆様には一方的に説明をお聞きいただきましたが、少しでも財団を理解して活用してもらえればと、思っております。



## 新入会員紹介

RC	氏名	入会日	会社名	職業分類
新発田	小竹 英之	2018.8.20	ホテルひさご荘	温泉ホテル
新発田城南	長屋 和彦	2018.7.26	学校法人大彦学園開志国際高等学校	ビジネス教育業
新発田中央	本間 弘義	2018.7.4	鍵屋 2 4	金属建具
新発田中央	桐澤 大作	2018.7.11	桐澤建設 (株)	土木建築工事
新潟東	鈴木 龍雄	2018.7.20	(株)ボルテックス 新潟支店	不動産売買
新潟東	早福 孝憲	2018.8.3	(株)マンパワー	人材派遣業
新潟東	根岸 亨	2018.8.3	東海東京証券(株) 新潟支店	証券業
新潟西	池田 浩	2018.7.5	(株)E&C マクロム	送・配電地中線工事
新潟西	斎藤 将彦	2018.7.12	(株)プロメディア新潟	番組企画制作
新潟北	常山 彰宏	2018.7.2	明治安田生命保険(相) 新潟支社	保険業
白根	安達 公明	2018.7.5	安達建設工業(株)	建設業
巻	高橋 典夫	2018.8.1	(有)丸高重機建設	請負
長岡	小林 淳	2018.7.3	NST 新潟総合テレビ 長岡支社	放送業
長岡	小出 清	2018.7.3	北陸ガス(株) 長岡支社	ガス供給
長岡	斎藤 賢明	2018.7.3	東北電力(株) 長岡営業所	電力
柏崎	高井 聡	2018.8.1	北陸ガス(株) 柏崎支社	ガス供給業
十日町	吉澤 政敏	2018.7.1	(株)きものアイ	繊維品販売
高田	柴山 圭一	2018.7.6	(株)第四銀行 高田営業部	地方銀行
糸魚川	桐木 勉	2018.5.31	糸魚川バス(株)	道路旅客運送業
糸魚川	宮野 忠雄	2018.7.2	東北電力(株) 糸魚川電力センター	電力供給
糸魚川中央	清水 貴之	2018.7.1	(株)コラソン	調剤薬局

## 訃報

三条北RC 中條 耕二 様 ご逝去日：2018年8月7日

(株)ナカジョウ 代表取締役会長

### ■ロータリー歴

2001～2002年 第四分区アシスタントガバナー

2006～2007年 ガバナー

2008～2010年 RI 規定審議会地区代表議員

2009～2012年 地区ロータリー財団委員長

他地区委員会委員長多数歴任

### ■ロータリー受賞歴

1996年6月 会員増強に対する会長賞

2004年10月 会員増強ガバナー特別表彰

2010年11月 ガバナー賞 (地区功労者)

ロータリー財団メジャードナー

第11回米山功労者メジャードナー

## 第2560地区 2017-18年度 7月末 会員数および出席報告

R C	例会数	出席率	会員数			
			2017年7月1日	7月末会員数	うち女性	増減
<b>第1分区(9クラブ)</b>	<b>4</b>	<b>88.68</b>	<b>375</b>	<b>380</b>	<b>37</b>	<b>5</b>
新発田	4	98.14	95	97	0	2
村上	4	84.46	37	37	9	0
水原	4	84.70	27	27	0	0
中条	4	91.67	36	36	3	0
新発田城南	4	84.34	43	44	4	1
豊栄	5	89.16	24	24	3	0
新発田中央	4	81.63	49	51	5	2
中条胎内	4	91.44	37	37	7	0
村上岩船	4	92.60	27	27	6	0
<b>第2分区(9クラブ)</b>	<b>5</b>	<b>81.49</b>	<b>437</b>	<b>444</b>	<b>19</b>	<b>7</b>
新潟	5	84.93	86	89	0	3
新潟東	4	85.15	57	58	7	1
新潟南	4	79.91	104	104	2	0
佐渡	4	89.30	7	7	0	0
新潟西	4	85.90	39	41	1	2
佐渡南	5	85.64	41	41	4	0
新潟北	4	59.67	40	41	0	1
新潟中央	5	80.80	25	25	0	0
新潟万代	4	82.13	38	38	5	0
<b>第3分区(6クラブ)</b>	<b>4</b>	<b>73.50</b>	<b>117</b>	<b>119</b>	<b>6</b>	<b>2</b>
新津	4	74.09	18	20	0	2
村松	4	83.28	9	9	0	0
五泉	4	81.25	13	13	1	0
白根	4	77.85	37	37	2	0
新津中央	5	72.01	30	30	2	0
阿賀野川ライン	4	52.50	10	10	1	0
<b>第4分区(11クラブ)</b>	<b>4</b>	<b>78.10</b>	<b>365</b>	<b>376</b>	<b>26</b>	<b>11</b>
三条	4	89.77	56	60	0	4
燕	4	58.33	33	34	2	1
加茂	4	74.70	28	30	5	2
三条南	4	92.02	48	48	3	0
分水	5	87.23	28	29	3	1
見附	4	71.00	20	20	1	0
吉田	3	75.55	28	30	3	2
三条北	4	78.36	64	64	2	0
巻	4	83.80	20	21	1	1
田上あじさい	4	71.40	7	7	1	0
三条東	4	76.90	33	33	5	0

R C	例会数	出席率	会員数			
			2017年7月1日	7月末会員数	うち女性	増減
<b>第5分区(7クラブ)</b>	<b>4</b>	<b>86.64</b>	<b>316</b>	<b>320</b>	<b>24</b>	<b>4</b>
長岡	4	89.47	45	48	1	3
柏崎	2	80.28	43	43	0	0
長岡東	4	90.33	67	67	5	0
柏崎東	4	86.12	48	48	4	0
栃尾	4	93.83	22	22	0	0
長岡西	4	82.87	56	56	5	0
柏崎中央	4	83.59	35	36	9	1
<b>第6分区(6クラブ)</b>	<b>4</b>	<b>82.03</b>	<b>149</b>	<b>150</b>	<b>10</b>	<b>1</b>
十日町	4	94.11	33	34	3	1
小千谷	4	77.88	33	33	4	0
雪国魚沼	4	70.20	27	27	2	0
十日町北	3	96.97	22	22	0	0
津南	4	78.70	27	27	1	0
越後魚沼	5	74.29	7	7	0	0
<b>第7分区(8クラブ)</b>	<b>4</b>	<b>83.59</b>	<b>330</b>	<b>335</b>	<b>22</b>	<b>5</b>
高田	4	99.55	65	65	0	0
直江津	4	78.80	61	62	4	1
新井	4	75.00	30	33	2	3
糸魚川	4	89.88	41	42	3	1
高田東	5	80.00	37	37	2	0
糸魚川中央	4	80.00	36	36	0	0
頸北	4	85.40	15	15	1	0
越後春日山	4	80.10	45	45	10	0

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,089	人
7月末 会員数	2,124	人
女性会員数	144	人
純増減会員数	35	人
当月平均出席率	82.12	%



## 9月地区の予定 【基本的教育と識字率向上月間】(RI レト: \$1=¥112)

	地区主要行事	会場
1(土)	第1回米山記念奨学委員長セミナー	ホテルイタリア軒
1(土)	長期受入学生オリエンテーション	ホテルイタリア軒
3-4 (月-火)	第1回ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)	グランドプリンスホテル新高輪
5(水)	2019-2020年度の地区研修リーダーのためのセミナー (DTLS)	グランドプリンスホテル新高輪
8(土)	第2分区IM(丸山G補佐・新潟中央RC)	ANAクラウンプラザホテル新潟
8(土)	第4分区IM(久住G補佐・分水RC)	長岡市寺泊文化センター『はまなす』
8(土)	第5分区IM(佐藤G補佐・栃尾RC)	栃尾産業交流センター(おりなす)
15(土)	大谷ガバナーエレクト事務所開所式	百年料亭 宇喜世
17(月・祝)	短期長期派遣学生帰国報告会	ホテルオークラ新潟
29(土)	第1分区IM(佐藤G補佐・村上岩船RC)	夕映えの宿 汐美荘
29(土)	第3分区IM(吉田G補佐・白根RC)	サルナート
29-30 (土-日)	ライラ研修(ホストクラブ:直江津RC)	ホテル センチュリー イカヤ
30(日)	第6分区IM(池田G補佐・十日町北RC)	ラポート十日町

## 10月地区の予定 【経済と地域社会の発展月間・米山月間】

	地区主要行事	会場
4(木)	地区大会記念親睦ゴルフ大会	湯田上カントリークラブ
6(土)	奉仕プロジェクト委員会セミナー	燕三条リサーチコア
13(土)	米山記念奨学生親睦交流会	
27(土)	長岡東RC創立60周年記念式典	ホテルニューオータニ長岡



## ■ 「RI第3ゾーン戦略計画推進セミナー」

本セミナーはRC、RRFC、RPIC、3部門のコーディネーターが毎年度交代で幹事役を務め、西日本の主要都市で7月初旬に開催しております。本年度はRPIC部門が主幹事となり第3ゾーン11地区所属の125名の地区リーダー・クラブリーダーが参加し、大阪で開かれました。石黒慶一・三木明両RI理事、北清治TRF管理委員、水野功会員増強プロジェクトリーダー、高島凱夫RC、田村泰三RRFC、松本祐二EPNZC、大室篤E/MGA、及び第3ゾーン11地区ガバナーが、プレゼンターとなり、各担当分野の「新年度戦略計画推進」についてご講演頂きました。

今回のセミナー基調講演者、水野功様には日本の全地区が直面しております会員基盤弱体化の課題と、その対応策、そして「日本ロータリーの3ゾーン復活」に向けた戦略計画についてお話し頂きました。そして締め括りとして、第3ゾーン各地区のそれぞれのガバナーの皆様へ、担当地区の「戦略計画」の進め方についてお話し頂きました。各地区がおかれた現況は様々です。その対応策も様々です。各地区ガバナーの戦略計画推進についてのバラエティに富んだプレゼンテーションは、セミナー参加者のRIリーダー、地区リーダー、クラブリーダーにとり、今後の地区運営、クラブ運営に大きな参考になりました。特に既存クラブでの会員純増がなかなか難しい中で、RAC卒業生などの若年層や、職務の第一線からリタイヤした年代層の新会員を「衛星クラブ」のメンバーとして迎え、会員基盤拡大に動きだしたD2660や、D2670の事例発表は、新時代の動きとして注目されました。

次年度の第3ゾーンセミナーは高島凱夫RCを主幹事として、2019年7月13日に大阪で開催予定です。次年度も各地区から多数の皆様にご参加頂きたいと願っております。



第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄 (大阪中央RC)

## ■ 「会員増強への道のり」

### 1: 受け入れクラブ自身の意識改革、環境整備を

先ずすべての面で魅力あるクラブであらねばならない。時代にマッチし、戦略計画に則り、活発な奉仕活動が実行され、会員同士の交流や親睦が図られ、地域住民から信頼されることが何よりも大事である。

### 2: 質より量を

会員増強についていつの世でも質だ、量だと言う不毛の論争を聞くが、私は量を重視したい。入会後クラブのアフターケアの有無でどんな新会員でも今後の運命は決まると思う。特に大切なのはロータリーの本質である奉仕の理念を少しでも理解し、古い会員との親睦の中でロータリーに慣れ、楽しんでもらうことが大切だ。

### 3: 女性会員を増やそう

世界の女性会員比率は既に20%強、日本のそれは6%強と大きく遅れる。各クラブとももっと女性会員獲得に積極的に動くべきだ、開拓の余地は充分にある。日本で女性会員数がせめて全体の1割を越えれば念願の10万5千人を越す。歴史と伝統のある大クラブほど女性会員加入に消極的であると言われるが、今こそ意識改革を望みたい。

### 4: 若い会員の入会促進

平均年齢維持と元気なクラブ作りの為には若い会員の加入は当然。大胆な例会運営改革、活動領域 拡大、将来のリーダー育成などを求めて若き経営者に好都合な条件が適応され、勧誘は容易になったように見える。

### 5: 新クラブ設立(従来型、衛星クラブ型、Eクラブ型など)

現在、従来型の新クラブ設立は何処であろうとも不可能に近い。そこで考案された新型のロータリークラブとしてweb活用のオンライン例会、即ちEクラブが、続いて衛星クラブが新カテゴリーの中で誕生し、忙しく若い方のため柔軟性のある運営を前面に出したクラブが世界各地で誕生した。第3ゾーンでも最近大阪と香川県にそれぞれ産声を上げた。今後も大いに期待し、会員増強の一助になるよう祈っている。

### 6: 隗より始めよ

「Member Get Member」という言葉がある。すなわち、「会員一人が新会員一人入会させよ」という意味。私達地域リーダーも含め、各クラブ会長が先頭に立ち増強に努めましょう

第3ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 伊藤文利 (倉吉RC)



## 2019年4月採用米山奨学生の募集を開始

2019年4月採用の新規奨学生募集が始まりました。各地区の米山奨学委員会からの報告により決定した指定校は、全国で538（前年度534校）。指定校からの被推薦者数は1,784人（前年度1,733人）で、この中から新規奨学生617人（\*）が選ばれます。（\*）継続生辞退、奨学期間半年および地区奨励奨学生採用により変動有り

大学・大学院以外の教育機関在籍者を対象とする地区奨励奨学金を導入したのは12地区で、指定校は23校、そのうち初指定は4校でした。今回は、初めて全34地区が地区独自の選考基

準（地区選考の目安）を提示しました。最も多かった要望は「申込者が1カ国に偏らないよう国籍割合に配慮してほしい」（32地区）、次いで「ロータリー活動への積極性」（29地区）「日本語能力」（22地区）などが挙げられました。

指定校通知および募集要項・申込書などの書類は8月3日に指定校にメール配信しました。指定校からの応募期限は10月15日です。

※2019学年度採用の指定校一覧や募集要項・申込書式は当会ホームページにて公開しています

## 寄付金速報 — 2018-19年度も好調にスタート —

2018-19年度の寄付金は約2億3,000万円、前年度と比べて7.1%増（普通寄付金3.1%増、特別寄付金18.8%増）約1,500万円の増加となりました。2007年度以降直近12年間の中では最高額となり、順調な滑り出しとなりました。

ご寄付をいただきました皆様に厚く御礼申し上げます。米山記念奨学事業は、日本のロータリーが世界に誇るプログラムです。今後とも引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

## 日台インターアクト交流、米山学友が懸け橋に

8月2～5日、第2660地区（大阪府）インターアクトが海外研修のため台湾を訪問し、第3461地区（台湾）インターアクトと交流をしました。同地区インターアクトは毎年、海外研修を行っています。今回、多くの米山学友が会員として所属する台中文心RCとの協議を重ねるなかで、初の台中訪問が実現。第3461地区から15校145人、第2660地区から10校55人のインターアクター、両地区のロータリアンが総勢330人以上参加する交流会となりました。

日台インターアクター共同での奉仕活動のほか、それぞれが自国の文化紹

介やダンスなどの発表をし、最後には大きな輪になって全員が盆踊りを踊りました。

第3461地区の張光雄ガバナーは「とても良い勉強の機会になったと思う。日台の学生の情熱を感じることができた。初の交流だが大成功だったと思う」と述べ、第2660地区インターアクト委員長中野隆二氏も、「米山奨学会の長年の取り組みの一つの成果だと思う。一朝一夕にはできない事。先輩のロータリアン達に感謝している」と、感想を語ってくださいました。

（取材協力：ガバナー補佐エレクト、元地区米山奨学委員長 福田治夫氏）



## モンゴル米山学友会から西日本豪雨被災地への義援金

「平成 30 年 7 月豪雨」は、西日本各地に甚大な被害をもたらしました。このニュースに心を痛めたモンゴル米山学友会では、3 月に就任したばかりのオイドブ・バトゲレル会長

(2005-07/前橋 RC) が中心となり、会員に義援金を呼び掛けました。

7 月 20 日、同学友会を代表して、創立会長のジャンチブ・ガルバドラッハさんと第 3 代よねやま親善大使のエンフボルド・ボロルトヤさんが当会事務局を訪問。今なお避難生活を送る被災者や復興のために尽力する方々を気遣い、「被災された皆さまのために少しでも役立てていただけたら」との気持ちを綴ったお見舞い

の手紙と共に、モンゴル学友 36 人からの義援金 14 万 9,050 円を届けてくれました。義援金は全額、第 2710 地区 (広島県・山口県) に送金しました。



## ウイグル出身の米山学友らが西日本豪雨被災地へ

8 月 4 日、関東在住の中国新疆ウイグル自治区出身の米山学友・家族計 16 人が、岡山県倉敷市の西日本豪雨被災地で、土砂撤去などのボランティア活動をしました。そのうちの一人、イスカンダル アブドバリさん (2017-18/川越 RC) によると、今回の活動は在日ウイグル人有志団体が企画。総勢 43 人が現地に赴き、行くことのできなかつた人たちも募金に協力して、義援金 30 万円を寄付したそうです。

ボランティアを終えたアブドバリさんは、「学友として、ロータリアンの方々にいつも感謝の気持ちで胸いっぱいです。今回のボランティア活動は恩返しとまでは言えないが、災害地の皆様への応援の心が少しでも伝わればと思います。災害地の早期復旧を祈っています。今後もこのような活動に積極的に参加し、少しずつ恩返しして行きたいと思っています。日本、頑張れ！」と、メッセージをくださいました。

### 今回のボランティア活動に参加した米山学友

- ・ディリムラット ティリワルディさん (2003-04/熊谷 RC)
  - ・マヒムト アブドワイトさん (2011-12/坂戸 RC)
  - ・天山 シェムシデンさん (2005-06/児玉 RC)
  - ・オシュル イブラヒムさん (2015-07/坂戸さつき RC)
  - ・イブラヒム アジさん (2005-06/羽生 RC)
  - ・イスカンダル アブドバリさん (2017-18/川越 RC)
  - ・サイダル アブドサマティさん (2018-09/坂戸 RC)
- ほか 8 名および学友の配偶者 1 名



文庫通信 (372号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

## 最近の資料より

- ◎ 「ロータリーの扉を開く言葉」 服部芳樹 2018 11p
- ◎ 「ロータリー語ときあかし辞典」 服部芳樹・北川宥智 2018 43p
- ◎ 「日本のロータリーの伝統を守るクラブ細則」 服部芳樹 2018 12p
- ◎ 「職業奉仕委員会報告書ー永続・発展の職業奉仕とは！」 D.2530  
[2018] 28p
- ◎ 「『内向き』と『外向き』わかりやすい職業奉仕」 D.2780 2018 43p
- ◎ 「プロフェッションの職業奉仕」 高良明 2018 5p  
(凡太の奉仕経営物語)
- ◎ 「ヘルスライフーロータリアンの願い」 小林博 [2018] 17p  
[上記申込先：ロータリー文庫]
- ◎ 「ロータリーの心と原点〈改訂第8版〉」 廣畑富雄 2018 171p  
[申込先：(株)エムケイスペース FAX(092)737-9557]
- ◎ 「ロータリー財団ハンドブック」 D.2750 2018 123p  
[申込先：D.2750 FAX(03)5472-2750]
- ◎ 「初期ロータリーを顧みて」 鈴木宏監修 2014 106p  
[申込先：鈴木宏 FAX(028)660-2224]

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階  
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日